

新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金 ご支援のお願い

新型コロナウイルスの脅威が日に日に全世界に影響を及ぼしている中、日本においても新型コロナウイルスの感染者が増加の一途をたどっています。

新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金 有志の会は、2020年4月3日(金)に日本における新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組む活動に対し、緊急の助成をする基金を立ち上げました。

特徴：この基金で、できること。

今資金を必要としているところに、いち早く助成します

4月3日(金)に基金を立ち上げると同時に、第1期の助成先公募を開始します。第1期の助成先決定は4月15日(水)、給付は4月17日(金)を予定しており、皆様からいただいた資金を迅速に届けてまいります。

集まった資金の流れを透明性高く知ることができます

助成先の決定プロセスおよび助成先の活動報告は、「新着情報」にて随時更新していきますので、支援したお金がどの団体に使われ、どのような成果が生まれているのかを知ることができます。

基金への寄附で税制優遇が受けられます

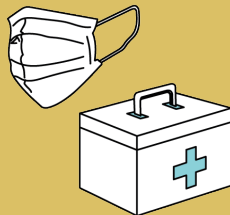
※詳細につきましては基金募集ページをご確認ください。

感染症拡大防止アクションに支援します

研究・開発



マスク・医療器具



感染症対応



子ども・福祉



今回の基金では、日本における新型コロナウイルス感染症の防止拡大に取り組む、個人・団体・事業者・医療機関・自治体などに対して、下記のような活動費用を緊急に助成します。

- ・介護施設、障がい者施設、保育所、学校、放課後学童保育等へのマスク等必要物資の支援費用
- ・医療機関へのマスクや手袋、ガウンなどの医療用防護具、水や毛布などの救援物資、人工呼吸器やベッドなどの医療器具の支援費用
- ・医療用防護具、医療器具などを生産するための事業経費
- ・保健所、医療機関、介護施設、障がい者施設、保育所、学校、放課後学童保育等の新型コロナウイルス感染症対応に関わる人件費
- ・新型コロナウイルス拡大感染症の影響を受け、社会的孤立が懸念される子ども、青少年、保護者、高齢者、低所得者などを支援する個人・団体等の活動費用
- ・新型コロナウイルス感染症の予防、診断、治療のための研究・開発費用
- ・その他、各個人・団体・事業者・医療機関・自治体などが新型コロナウイルス感染症対応を実施する上で発生する費用

有志の会 新型コロナウイルス感染症対策専門家チーム



小坂 健
東北大学教授



賀来満夫
東北医科薬科大学
医学部 特任教授



西浦 博
北海道大学大学院
医学研究院衛生学教室 教授



中島一敏
大東文化大学
スポーツ・健康科学部
健康科学科 教授



岡部信彦
川崎市健康安全研究所長



和田耕治
国際医療福祉大学
大学院公衆衛生学 教授



佐々木淳
医療法人悠翔会理事長



原田奈穂子
宮崎大学 医学部
精神看護学領域 教授

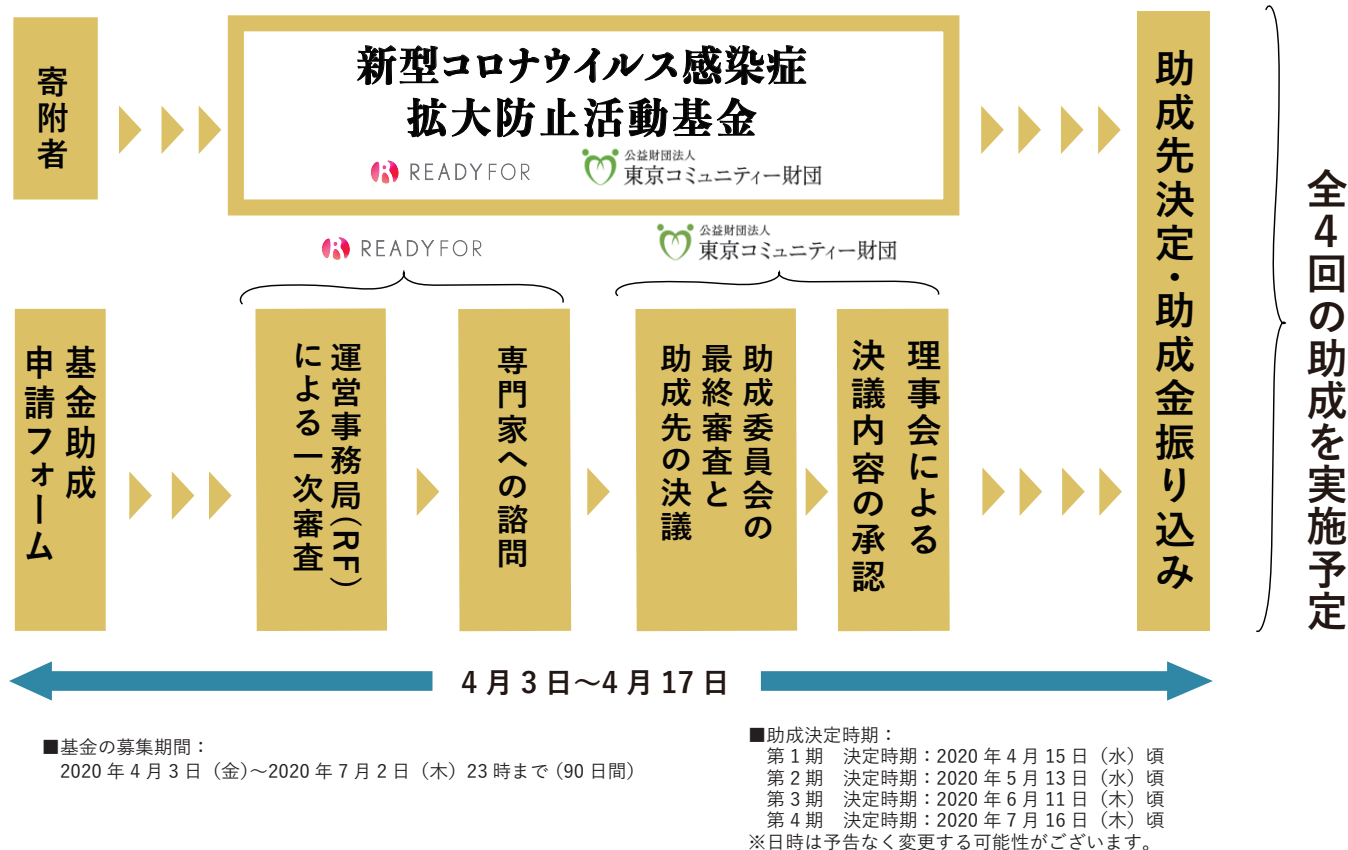


宮田 裕章
慶應義塾大学医学部 教授



高山義浩
沖縄県立中部病院
感染症内科・地域ケア科 副部長

スケジュールと方法



何卒、ご協力をお願い致します。

本基金を広く世の中の方々に知っていただき、
多くの人からのご寄附を集めるため、下記の2点にご協力をいただけますと幸いです。

1. 「新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金」にご寄附をお願いします。
2. 基金への寄附をSNSなどで投稿をお願いします。

未曾有の事態を目の前に、わたしたちの日常は少しずつ壊れていく。
どこにも行けない、会えない、明日すら見えない不安のなかで、
それでも、わたしたちは生きている。この毎日を、生き抜いていく。

まずは自分を、そして愛する人を守ろう。
もし、少しの余裕があるならば、誰かを守るために、
できる範囲で、できるだけ 動きだそう。

最前線で闘う人々と、わたしたちが共にできること。
本当に必要なところに、いち早く、今 アクションを。

あなたの寄附は、
あなたと誰かの明日につながる、大きな一歩になるはずだから。

#明日をつなぐ

プロジェクトURL : <https://readyfor.jp/projects/covid19-relief-fund>
公開期間 : 2020年4月3日(金)～2020年7月2日(木)23時まで(90日間)
基金の助成時期 : 第1期を4月17日、第2弾5月上旬、第3弾6月中旬、第4弾7月中旬の全4回を予定。

※上記のスケジュールは変更となる可能性があります。

※本基金の運営支援として公益財団法人トヨタ財団が助成しています。



コロナ基金 READYFOR

検索